



デジタルメディア学部、工学部ロボティクス学科 健康科学部臨床工学科の設置決定について －2026年4月10学部18学科を擁する総合大学へ－

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田 知弘）は、2025年8月29日に文部科学省より、2026年4月に開設するデジタルメディア学部（通学課程）、工学部ロボティクス学科、健康科学部臨床工学科の設置に係る収容定員増およびデジタルメディア学部通信教育課程の設置が認可されましたのでお知らせいたします。この認可を受け、本学は2026年4月より、文系・理系・医療系が一つのキャンパスに集う、10学部18学科を擁する総合大学となります。

本学は、開学以来、社会に有為な人材を育てることを使命とし、不断の改革を行ってきました。時代や社会が変化するからこそ、大学で習得する知識・スキル、学問領域は広がっています。多様な問題意識をもつ若者や社会人が自由にのびのびと学べる大学として、様々なチャレンジができる学びのフィールドを創り続け、学生たちの目指す進路の実現にむけて尽力してまいり所存です。

■学部・学科の概要

1. デジタルメディア学部デジタルメディア学科

入学定員：100名（通学課程）、180名（通信教育課程） 取得学位：学士（工学）

教育の特色：

日本が誇るゲームやアニメ・音楽といったメディアコンテンツを支えるクリエイション技術と、これからますます活用されていく画像・映像・音声の自動認識やVRといったメディアエンジニアリング技術の双方を学ぶことで、デジタル時代のクリエイターやITエンジニアを養成します。ビジュアルエンジニアリング、サウンドエンジニアリング&クリエイション、ゲームクリエイション、ビジュアルクリエイションの4つのモデルコースを設けています。

2. 工学部ロボティクス学科

入学定員：80名 取得学位：学士（工学）

教育の特色：

先端AI技術から機械系、情報系まで、社会で活躍できる知識と技術を基礎から体系的に学びます。カリキュラムは、機械、AI・情報、電気電子、計測・制御などロボティクスに関わる分野をバランスよく配置しており、様々な分野の知見を統合するロボティクスの醍醐味を体感できます。各分野のなかでもAI分野や人とロボットの関わり合いに着目した科目を充実させ、この分野での著名な教員から先端的で実践的なロボティクスを学ぶことができます。

3. 健康科学部臨床工学科

入学定員：40名 取得学位：学士（臨床工学）

教育の特色：

技術革新の波は医療分野にも押し寄せ、テクノロジーの高度化が進んでいます。医療現場で用いられる様々な医療機器のスペシャリストである臨床工学技士の国家資格取得に加え、IT分野や医療機器開発、病院管理に関する能力を修得するためのカリキュラムが特徴です。次世代の医療を支える高度医療技術者を養成します。



■入学定員の詳細

【通学課程】

学部	学科	現行	変更後
デジタルメディア学部（新設）	デジタルメディア学科	—	100名
工学部	情報工学科 ロボティクス学科（新設） 建築デザイン学科	130名 — 80名	100名 80名 80名
健康科学部	理学療法学科 作業療法学科 救急救命学科 臨床検査学科 臨床工学科（新設）	66名 40名 50名 80名 —	66名 40名 50名 80名 40名
その他学部・学科		1,195名	1,195名
合計		1,641名	1,831名

【通信教育課程】

学部	学科	現行	変更後
総合心理学部	総合心理学科（通信教育課程）	180名	180名
デジタルメディア学部（新設）	デジタルメディア学科（通信教育課程）	—	180名
合計		180名	360名

■京都橘大学学長・岡田知弘コメント

このたび、文部科学省より、デジタルメディア学部（通学課程）、工学部ロボティクス学科、健康科学部臨床工学科の設置に係る収容定員増およびデジタルメディア学部通信教育課程の設置が認可されましたことを大変嬉しく思います。

京都橘大学は、文系・理系・医療系が一つのキャンパスに集い、異なる分野の学生たちが混ざり合いながら、共に学ぶ環境を大切にしてきました。

新しい学問領域を擁することで、学生や教員、そして地域社会との新たな知の融合が生まれ、日本の未来を創る原動力となる価値を生み出していけると確信しております。

多様な問題意識をもつ若者や社会人が自由にのびのびと学べる大学として、様々なチャレンジができる学びのフィールドを創り続け、それぞれの夢を実現する力を育めるよう、私たち教職員は全力でサポートすることをお約束します。

新しい時代を切り拓く教育・研究・地域共創を実現していきたいと思っておりますので、ぜひ、ご期待ください。

■新教育棟2026年3月竣工「ACADEMIC TERRACE（アカデミックテラス）」

新学部・学科の開設に伴い、新たな教育研究設備として「ACADEMIC TERRACE」が2026年3月に完成予定です。学生、教職員、地域、全ての人が自由に、創造的につながり、新たな出会いとイノベーションが生まれる学びのコミュニティをめざします。



新棟完成イメージ



共創を生み出すコモンズのイメージ